

ちばの地域福祉

こどもの医療と地域

医療法人社団啓友会

あべこどもクリニック院長

中核地域生活支援センター・なかまネット理事長

阿部 啓次郎

季節は春。新入生達が緊張しながら毎日を楽しく過ごしていると思います。中には、騒ぎ過ぎる子供や、毎日泣いている子供もいて、親も不安だと思ひます。そして学校の先生達もてんやわんやでクラスの運営に奮闘している時期だと言えます。

さて、発達小児が専門の私は、数年前から教育委員会からの依頼で学校現場に行き専門委員として助言をする仕事を始めています。その中で常に感じるのは子供達に重度の問題があるにも係らず、親への十分な告知や助言がなされておらず、子供達への医学的・社会的な援助の手が差し伸べられていない現実があることです。言い換えれば3歳児健診以降に顕在化する多くの発達障害が拾われず、元気な、お調子者、そだてにくい子供という評価で小学校高学年まで推移し、行為障害などを起こして初めて問題が机上に乗る状況が多いわけではす。日常で子供をプラスに評価していく大人の姿勢は大事ですが、育てにくさの中に内在する問題をしっかりと把握して適切な助言や教育を行うことで、問題の悪化を防ぎ、結果として子供の自尊心が保持される事はもっと重要だと考えます。

早期発見のために5歳児健診や就学時検診があるのですが、まだ機能しておらず、かつ軽度発達障害児への早期教育のシステムそのものが十分に地域の資源としてない状況では、見つけておしまい（問題の棚上げ）になりかねません。今後も医療と教育そして行政が継続的に連携していく必要性を強く感じています。

最後に、過日八千代市要保護児童対策地域協議会で25年度の報告がなされました。現在進行形の280人余りのうち60名以上が当院に受診しており、そのうち要保護だと把握していたのは半分しかありませんでした。私の前で親は皆、紳士淑女一歩外に出ると変身なのでしょうが、把握率が少ない点でショッキングな数字でした。家族を支えるのは発達障害児以上に困難ですから、児童相談所を含め行政との連携が必要不可欠といえます。

病気だけをみて投薬だけすればよい医療の時代は終わり、いかに地域社会の問題と向き合いながら仕事をして行くかが私たち小児科医に問われる時代になったと思うこの頃です。

中核地域生活支援センターの地域づくり

「山武圏域における地域づくり」

さんぶエリアネット 所長 吉井 稔

さんぶエリアネットは、九十九里沿岸にある地域であり、東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、横芝光町、芝山町の3市3町の山武郡市を対象として、活動しております。

発足当時は、「何でも相談」としてよろず相談場所として、相談活動を行っており、「中核地域生活支援センターって何をしてくれるところなの？」という声も聞かれましたが、中核センターの活動を知ってもらう為の広報活動や、複合的な問題を抱えるケースを他機関と一緒に支援活動を展開したり、横断的な制度活用を行っていきながら、相談者の課題解決の為の支援体制をコーディネートすることを通して徐々に中核センターの活動とさんぶエリアネットの名前を知ってもらえるようになりました。現在では、行政機関及び福祉関係機関、地域住民からの相談も増え、既存の相談機関だけでは対応しきれない複合的な相談内容が多くよせられるようになりましたが、そのような相談も関係機関・団体などの協力を得て、円滑な支援や連携が行えるようになってきていると感じております。

山武地域の地域づくり活動を改めて振り返ってみると、3年前までは、地域づくり活動は中核センターの役割であり、率先してたくさんの企画・運営・実施しなければいけないと考え、目標数値を立て実施していました。

しかし、昨年度からは「地域づくり＝中核センターの役割」という考えではなく、多数の事業所が協力し合って作り上げることで、「地域の活動」として考えていくことが重要なのではないかと考えるようになりました。その具体的な活動の形として、催事を行う際には、地域の関係機関や団体に極力的に協力を求め、複数の事業所の協力を基に実行委員会を発足させ、関係機関全体として「みんなで作り上げる活動」という認識を持ってもらうよう活動を行うようにしました。結果として、「成年後見制度に係る研修会、医薬と福祉がにつながる座談会(薬剤師・福祉職編)、災害支援を考える集い、障害福祉事業所間交換研修、障害福祉サービス事業所等交流会、ペアレントサポートワークショップ in 山武、司法・福祉・保健医療がにつながる座談会」など、さまざま研修会・交流会活動を行い、地域への情報発信や関係機関の連携強化を図りました。

また、当事業所の大きな活動の一つとして、山武圏域自立支援協議会の事務局活動を担っています。山武圏域の障害者福祉の現状を通して見えてくる地域の課題などを、自立支援協議会へ課題として挙げていき、課題解決へ向けて、地域全体で取り組んでいけるよう働きかけています。

これからも、地域のみなさんと一緒に作りあげる活動、地域の資源を結びつける活動を行い、縁の下の力持ちとなっていきたいと思っております。

山武圏域 中核地域生活支援センター さんぶエリアネット

【対象地域】 東金市・山武市・大網白里町・山武郡

【連絡先】 〒289-1326 山武市成東 189-3

TEL : 0475-53-5208

fax : 0475-80-2808

ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

認知症カフェ「かさね」と

千葉県認知症ケア専門士会の皆さん（市原市）

記録的な大雪に見舞われた今年2月、市原市内に一軒のとても素敵なカフェがオープンしました。認知症カフェ「かさね」です。

住宅地の一角に建つアットホームな店内で、手作りのヘルシーランチやおかわり自由のドリンクを提供しています。玄関では看板犬のジョンがお出迎え。300坪の広い庭には、鯉やメダカが泳ぐ池、家庭菜園、日向ぼっこのできる縁側、植木や季節の花たち。



「かさね」は、認知症のご本人・ご家族・誰もが気軽に集える場所を作ろう！と、千葉県認知症ケア専門士会の市原メンバー有志が中心となって立ち上げました。皆さん本職はケアマネジャーや看護師、介護保険事業所の管理者などですが、「かさね」では介護保険などの制度から離れ、自由な発想で認知症の方たちと関わりたいとの思いから、ボランティアで活動されています。

カフェとなっている民家は、ご家族を介護された経験のある大家さんが「かさね」の趣旨に賛同して快く貸して下さったそうです。

「仕事をしながらの準備はとても大変でしたが、メンバーのバイタリティーは凄かった！また、認知症介護の会『はなみずき』、認知症相談『縁（ゆかり）の会』、市原市認知症対策連絡協議会、市原市高齢者支援課、ボランティアの皆さんなど多くの方たちの協力もあって活動しています。課題もあるけど楽しく続けていきたい。家族や職場の理解にもとても感謝しています。」と代表の高橋瑞穂さんはおっしゃいます。

「認知症は誰もがなる可能性があります。認知症のことを良く知ってほしい。ランチは人と人とのコミュニケーション手段なんです。ここで同じ時間を過ごすことで、一人じゃない人と繋がっているんだと感じてもらいたい。地域の皆さんと作り上げていきたい。ぜひ、遊びに来てください。」（高橋さん談）



いちほら福祉ネットオススメのカフェです♪

認知症カフェかさね

オープン日時：毎週火・木・土曜日 10：00～15：00

料金：ドリンク 300円／ランチ 500円（ドリンク付き）

住所：市原市玉前 1308-2 TEL/FAX：0436-21-3733



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

平成26年度 千葉県難病患者の集い

- 【内容】** 今年で9回目になる難病患者の集いです。今回は「就労支援の最新動向」と、誰でも旅が楽しめるような「バリアフリー観光」についてお話をいただきます。
- 【プログラム】** 「最近の就労支援の動向について」
講師：春名由一郎 氏（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター主任研究員）
「さあ、旅に出よう！ ～バリアフリースターセンターの活動～」
講師：中子富貴子 氏（日本バリアフリー観光推進機構 事務局長 神戸夙川学院大学講師）
佐藤由香利 氏（ふくしまバリアフリースターセンター センター長）
- 【日時】** 平成26年5月31日（土）14：00～16：00（開場13：00）
- 【会場】** 千葉市生涯学習センター（千葉市中央区弁天3丁目7番7号）
- 【申込】** 不要。先着300名
- 【対象者】** 難病患者さん・ご家族・支援者の方
その他どなたでも千葉県難病事業に興味のある方
- 【問合せ】** 千葉県総合難病相談・支援センター（千葉大学医学部附属病院内）
TEL：043-222-7171

NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会設立10周年記念講演会

「今こども、若者のことを考える 親はどう向き合えばいいのか」

- 【内容】** 千葉県なの花会設立10周年を記念して、心理・カウンセリング分野の第一人者である諸富祥彦先生の講演会が行われます。この機会にこども・若者のこと、親の向き合い方を考えてみませんか？わが子がひきこもりで悩む親御さんをはじめ、たくさんの方々の参加をお待ちしています。
- 【講師】** 諸富祥彦 先生（明治大学文学部教授 教育学博士）
- 【日時】** 平成26年6月21日（土）13：30～16：30（開場13：10）
- 【会場】** 千葉市市民会館 小ホール（千葉市中央区要町1-1）
- 【参加費】** 一人1000円 **【申込】** 不要
- 【問合せ】** NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会事務局
（〒260-0042 千葉市中央区椿森 1-2-2 志村荘 201 号）
TEL：090-8491-0971
HP：<http://www.geocities.jp/nanohanakai2003/>
E-mail:nanohanakai2003@yahoo.co.jp

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：長生ひなた（長生圏域）茂原市長尾2694

TEL:0475-22-7859

FAX:0475-22-7844

編集：いちほら福祉ネット(市原圏域)市原市東国分寺台3-10-15

TEL:0436-23-5300

FAX:0436-23-5225

※内容についてのお問い合わせは、いちほら福祉ネット（担当：高地）までお願いします。